

社会教育施設の公民館は住民の宝もの

広範な運動で「公民館の廃止と有料化」条例提案を阻止へ

枚方市職労

枚方市にはいま、市立くずは公民館、牧野公民館、さだ公民館、津田公民館、菅原公民館の5つの公民館と、御殿山美術センター、サンプラザ市民センター、南部市民センターのあわせて8カ所の社会教育法にもとづく施設があります。

枚方市は、昨年8月から開催していた社会教育委員会議の答申にもとづいて、こうした8つの施設を社会教育法にもとづく施設からはずして、2006年度から一般施設として市長部局



枚方市立菅原公民館

シンポジウムで記念講演の長澤成次さん



熱心にききいるシンポジウムの参加者

へ移管し、有料化する方向を明らかにしました。

公民館がこのようになると、枚方市から公民館という名前の施設がなくなってしまう。「学ぶ場」としての公民館が単なる「貸し施設」になり、憲法・教育基本法で保障されている「学ぶ権利」が奪いとられてしまいます。

現在、枚方市の公民館は、年間に3600を超える団体、約84万人が利用しています。そして、無料で誰でも利用することができ、公民館は、地域になくしてはならない施設として、大きな役割をはたしており、その充

実こそとめられています。

1963年、枚方市教育委員会は「社会教育をすべての市民に」として、「①社会教育の主体は市民である②社会教育は国民の権利である③社会教育の本質は憲法学習である④社会教育は住民自治の力となるものである⑤社会教育は大衆運動の教育的側面である⑥社会教育は民主主義を育て守るものである」という、社会教育を権利とした「枚方テーゼ」を全国に発信してきた全国に誇る歴史があります。

市当局の姿勢が明らかに、すかさず、市民や枚方市職労は11月7日に「ひらかた市の公民館をよくする会」を結成し、公民館の廃止を許さず、いっそう充実・発展させるために、住民宣伝、対市交渉、議員への要請行動などさまざまなとりくみをはじめていきます。市民の要求は「公民館を有料化せず存続すること」「公民館がない地域に公民館を建設すること」「公民館に専門職員を配置すること」など多様です。

こうしたとりくみによって、中司宏・枚方市長は「現段階では市民への説明責任が十分はたせていない。説明と意見聴取の機会をもうけ、幅広い再編に反

今月のキーワード

2005年労働組合基礎調査

厚生労働省は昨年の12月14日、「2005年労働組合基礎調査」の概況を発表しました。労働組合員数は1013万1000人。前年から17万1000人減で11年連続の減少。全雇用者数5416万人のうち、労働組合への推定組織率は18.7%で、前年比0.5ポイント減。パートタイマーは1172万人で労働組合員数は2万6000人増えて38万9000人。連合は667万2000人、全労連95万4000人。自治労連は21万1000人。

2006年 大阪自治労連 旗びらき

憲法擁護、安全と暮らしをまもる社会へ全力を

西谷文和さんが イラクの真実を レポート



記念講演の西谷文和さん

「2006年旗びらき」に先だって、西谷文和さん（イラクの子どもたちを救う会）が、「マスメディアが伝えないイラクの真実」のテーマで記念講演をしました。西谷さんは豊富な映像を紹介しながら、『9・11同時テロ』は実は仕組まれた惨劇ではないか、という指摘がされている。旅客機がペンタゴンに突入したというのも本当にそうだったのかと疑問がでている」

と衝撃的な話を紹介しました。また、「バグダッド空港の警備は米軍ではなくネパール人の民間戦士、殺された日本人の斉藤さんは民間警備会社の戦闘のプロ。いまや戦争さえ民間化されている。日本政府の規制でイラクには入国できず、マスコミも報道せず、本当のイラク・サマワが見えない

イヌ年に、たたかう相手に吠えまくる1年に

「2006年旗びらき」では、新しい年のはじめにあたって、谷真琴・大阪自治労連委員長は「この1年どうたたかうか。戦後60年から憲法公布60年へ、憲法擁護を大きな国民世論とするために全力をあげる、『小さな政府・官から民へ』に対峙して安全・暮らしをまもる社会へ、労働組合の社会的役割を大いに発揮していこう。今年はいヌ年、たたかう相手に対しては吠えまくる1年にしていこう」と強調しました。

大阪労連第16回 春闘勝利 将棋大会

日時 1月29日(日) 午前9時30分より
会場 国労大阪会館3階
大阪市北区錦町2-2 ☎06-6354-0661
参加費 2,000円 締め切り 1月23日(月)

■プロ棋士との指導対局・詰め将棋・大盤解説を予定！
■参加者全員に参加賞もあります

今月のキーワード

トリノ冬季オリンピック

2月10日から2月26日まで、イタリアのトリノで2006年冬季オリンピックが開催されます。6つの新種目を加え7競技84種目。日本は前回ソルトトレックシティー大会では、スピードスケート、フリースタイルでわずか2個のメダル。今回は男女フィギュア、ジャンプ、フリースタイル、スノーボードなどで日本の活躍が期待されています。とくにスピードスケートの清水宏保選手は3大会連続のメダル獲得をめざします。